



THE PHENOMENOLOGICAL ASSOCIATION OF JAPAN

日本現象学会事務局

153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科・石原孝二研究室

E-mail : paj-office@pa-j.jp 郵便振替 00980-9-109153

事務局便り

2019年3月22日

日本現象学会会員各位

拝啓 春寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2017年4月より大阪大学が事務局業務を行ってまいりましたが、2019年3月末で2年の事務局業務を終えることとなります。現象学会委員の皆様および会員の皆様には、様々な形での事務局運営上のご支援とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

新年度からは東京大学（石原研）に事務局が移転いたします。また、新年度の研究大会は、岡山大学（津島キャンパス）にて開催されます（アルバイト募集します：末尾参照）。実り豊かな大会になることを祈念しつつ、今後とも皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

I. 事務局の移転について

2019年度からは東京大学に事務局が移転します。事務局の詳細は以下になります。

新事務局長：石原孝二

新事務局住所：〒153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科

石原孝二研究室

Email : paj-office@pa-j.jp

II. 事務局便り、研究大会プログラムの電子化についてのお知らせ（継続）

事務局便りならびに研究大会プログラムのメール配信を希望されます方は、タイトルに電子メール配信希望とつけ、paj-office@pa-j.jpまで、お名前、ご所属、配信先

メールアドレスを記載の上、メールしていただけますよう、ご協力をお願いします。メール配信の場合は、郵送は致しませんのでご了承ください。（現在のところ、MLへの登録が少数のため事務手続き上、郵送もしております。）

また、事務局便り、ならびに研究大会プログラムにつきましては、HP上にアップいたします。

III. 住所・所属の変更について

住所不明で返送される郵便物があります。所属等変更があった方は現象学会のHP (<http://pa-j.jp/index.html>) にアクセスしていただき、グーグルフォームに記載してください。（<https://goo.gl/forms/G3ziknS3PMqnz2nt2> から直接アクセスできます。）

III. 第41回研究大会個人研究発表・ワークショップ募集

2019年11月23日（土）と24日（日）に岡山大学（津島キャンパス）にて開催されます。

a. 個人研究発表の募集

個人研究発表を希望される会員は、以下の要領で発表要旨を作成の上、事務局へ Word ファイルを添付の上、電子メールにて提出してください。

外国語（英語・ドイツ語・フランス語）での発表が可能です。

個人研究発表要旨応募要領

① 字数制限：

（日本語発表の場合）A4版用紙2枚（2400字）以内
原稿用紙のフォーマット：40字×30行×2枚

（外国語発表の場合）A4版用紙2枚（字数800語）以内
参考文献は字数に含みます。また、文字数・原稿用紙両方の規定を厳守のこと

② タイトル・様式など：

冒頭に、別紙で、タイトル・氏名・連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）・

所属を必ず記載してください（枚数・字数に含まず）。

期限・送付先：

2019年5月31日（金）（期限厳守）

事務局（paj-office@pa-j.jp）宛

③備考

- ・『年報』第35号に論文が掲載される予定の方は、今年度は発表ができません。
- ・発表の可否は、委員による審査の上、7月下旬頃までにご連絡致します。(7月中に連絡がない場合には、事務局まで確認の連絡をするようにお願いします。)
- ・**発表可となった発表要旨は、日本現象学会のHP上で公開します。**
- ・発表要旨のタイトルを研究大会での発表の際に変更することは認められませんのでご注意ください。ただし、副題を添えるなどの変更は認められます。
- ・発表原稿は、当日**二部**ご用意のうえ、事務局にご提出ください。また、同じ原稿を**事務局 (paj-office@pa-j.jp)**まで**発表後一週間以内**に**電子メール**でお送りください。
- ・個人研究発表時間は30分です
(質疑応答は別に15分)。
- ・発表の際、事務局に提出する発表原稿がそのまま査読用の原稿となりますのでご注意ください。
- ・**発表原稿の字数制限：(40字×30行×10枚)、外国語(5000words以内)を厳守してください。(注については、脚注でも構いませんが、電子ファイルで受け取った時に形式がくずれることがございます。文末注を推奨します。また、注及び参考文献も総字数に入ります。)**
- ・発表原稿のうち、委員による審査を通過したものが『年報』36号(2020年11月刊行予定)に掲載されます。なお、掲載論文は、**欧文レジュメ**も掲載されます。

b. ワークショップの募集

ワークショップ(萌芽的・実験的テーマに関する共同研究)を会員から募集いたします。以下の要領で発表要旨を作成の上、事務局へ**Wordファイル**を添付の上、**電子メール**にて提出してください。

ワークショップ応募要領

①企画案：

題目、オーガナイザ〔幹事〕名(所属)、提題者名(所属)、要旨(各提題者の発表内容を含む)をA4版用紙1枚(字数1600~2000字程度)にまとめてください。別途(A4版1枚)表紙に、オーガナイザの方の連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を記入してください。

② 期限・送付先：

2019年5月31日(金)(期限厳守)

事務局 (paj-office@pa-j.jp) 宛

③備考・オーガナイザ(1名)は日本現象学会会員に限ります。

- ・提題者は非会員でも構いません。提題者の人数に制限はありません。なお、オーガナイザと提題者がすべて同じ所属であることは認められません。
- ・ワークショップの時間は、原則120分です。
- ・発表の可否は、委員による審査の上、7月下旬頃にご連絡いたします。
- ・ワークショップ報告書(10000字)が、『年報』36号(2020年11月刊行予定)に掲載されます。

IV. 「研究奨励賞」について

2018年度の第7回受賞者は、**鈴木崇志氏**(「**他者理解において移入されるもの**」)に決定いたしました。

- ・各年度の受賞に当たって編集委員会で下記の条件のもとに選定の審議が進められます。

- ①受賞審査対象は、大会発表時に提出された投稿論文とする。
- ②受賞者の資格は、40歳以下(当該年4月1日現在)とする。
- ③副賞として、金二万円を贈呈する。
- ④希望者は英文訳を翌年の『年報』に掲載できる
- ⑤希望者は北欧学会若手枠への推薦を受けられる。
- ⑥「研究奨励賞受賞者」については、本人の希望を確認のうえ、「日本学術振興会育志賞」または「日本学術振興会賞」の候補として推薦する。

V. 学会費納入のお願い

2018年度までの学会費をまだお支払い頂いていない方は、早急に納付頂きたく存じます。封筒に添付された**宛名ラベルの右下に記載された数字**をご覧ください。これが未納金額を示しています。

ご確認の上、同封いたしました郵便振替用紙にてお振り込み下さい。

(例、3000→要納入金額3,000円。0の方には振り込み用紙を同封しておりません。また、これまでの会費の納入額が規定額より多いなどにより、金額が異なる場合がありますので**ご確認ください**。疑義のある場合には事務局までお問い合わせください。すでに納入された方には、行き違いをお詫びいたします。

なお、会費未納3年(宛名ラベル9000以上)で『年報』送付の停止、未納5年(宛名ラベル15000)で強制退会

(未納分を納入しない限り再入会不可)となりますので、会費を滞納されている方はご注意ください。以下の方は、2019年3月1日現在2018年度分を含め、会費を5年滞納している方です。行き違いで納入済みの方は、お詫び申し上げます。

VI. 『現象学年報』のバックナンバー

『現象学年報』の電子化(現在手続き中)に伴い、HP上(<http://pa-j.jp/pg104.html>)で30号までのバックナンバーを暫定的に公開しております。

VII. 転居先不明の会員について

現在、転居先不明等の理由で連絡がとれない状態のかがおられます。現在の連絡先をご存知の方がおられましたら、事務局までお知らせ下さい。

VIII. 会員異動のお知らせ(以下敬称略)

- ①入会(2018年度新入会者:17名)
- ②退会(2018年度退会者:15名)
- ③会費滞納除籍(2018年度:23名予定)

5年以上滞納の方が3月中にご連絡いただけない場合、自動的に除籍となります。

IX. 委員会議事録要旨

日時:2018年11月17日(土)12:30~13:50
18日(日)12:30~13:45

場所:東京大学(本郷キャンパス・法文2号館哲学研究室)

議題

- ①総会議長の選出(開催校教員:榊原)
- ②各委員会からの報告・提案
 - a.企画実行委員会(今年度活動報告ほか)
 - ・海外からのゲストスピーカーの計画・スケジュールの件。
 - b.編集委員会(年報34号発行報告、研究奨励賞ほか)
 - ・奨励賞は鈴木崇志氏、「他者理解において移入されるもの」
 - c.国際交流委員会(今年度活動報告)
- ③2017年度決算報告ならびに監査報告
- ④2018年度予算案
- ⑤入退会審査
- ⑥2019年度大会について

開催校:岡山大学(津島キャンパス)

日時:2019年11月23、24日

⑦その他

- ・古東委員より健康上の理由による委員の退任願いを承認。代わりの委員として、植村玄輝氏(岡山大学)を委員として選任。
- ・植村委員より大会開催校での人員集めが難しいという意見と個人研究発表をする学生の援助という観点から、個人研究発表への応募者から会場係のアルバイトを募集することを決定。

岡山大会アルバイト募集のお知らせ

日本現象学会第41回研究大会では、個人研究発表を希望する大学院生の旅費補助を目的として、個人研究発表への応募者から、会場係のアルバイトを募集します。ご希望の方は、以下の要領をご覧になった上で、事務局に提出する発表要旨の冒頭別紙部分に「アルバイト希望」とご記入ください。

仕事内容:

- 各セッション会場でのマイク回しとタイムキーパー。
- * 二日間中、ご自身の研究発表がない方の日に仕事を割り当てます。
 - ** どの会場を担当するかについては、プログラム確定後に希望を出していただきます(ご希望に添えない場合もあります)。

日当:

- 5000円(半日のみ)ないし10000円(1日)。
- * 業務時間はプログラム確定後に決定します。

応募資格:

日本現象学会第41回研究大会での個人研究発表に応募する大学院生(日本学術振興会特別研究員DCを除く)。

特典:

アルバイトの方は、11月22日および11月23日に岡山大学津島キャンパス内にある宿泊施設をご利用いただくこともできます(一泊2200円から2800円、費用は自己負担)。

お問い合わせ先:

岡山大学文学部 植村玄輝 (uemurag@okayama-u.ac.jp)